

令和年度 第1回 「一日体験ボランティア」
令和元年8月10日（土）実施の報告書

「子ども自然観察クラブ」
弘前公園のトンボ～種類と見わけ方

今年度第1回の「一日体験ボランティア」は、弘前市立中央公民館「子ども自然観察クラブ」の弘前公園のトンボ～種類と見わけ方～のお手伝いでした。

参加者は高校生3名、一般女性2名、一般男性1名の計6名で、講師の村田さんと一緒に弘前公園のトンボの観察（採取）をしながら学ぶお手伝いをしました。

初めに公民館で、9種類のトンボの特徴を学習してから公園に行きました。

その日は、朝から大雨で、室内での学習も検討されましたが、公園に出かける予定の10時には雨が上がり、青空の下で観察することができました。

アップルウェーブさんの生放送の取材もあり、高校生2名に「どうしてこのボランティアに参加しようと思ったのか？」「ボランティアとしての思いは？」などのインタビューに答えていただきました。

公園に到着すると、子どもたちがトンボの採取に夢中になって、それぞれ採取するたびに歓声を上げると同時に、その近くにいた子どもたちも集まって「すごい！」と騒いでいました。

ボランティアは、夢中になっている子どもたちを見守りながら一緒に喜んで、採取するお手伝いをしながら上手にサポートしていました。

初めに学習した9種類以外のトンボも発見されて、そのたびに講師の村田さんが解説してくれて、全部で11種類のトンボを観察することができました。

なかなかトンボを採取できなかった子どもたちからは、少ししょんぼりしている様子や、悔しそうな表情も伺えましたが、最後の方には、ほとんどの子どもが採取することができて、ボランティアと一緒に喜び合いながら満足げな表情を見せていました。

参加者からは、「子どもたちとお話ししながら、たくさんコミュニケーションが取れて、楽しく参加できて良かったです。」「子どもたちと触れ合うことで元気がもらえた。」「高校に入ってから初めてのボランティアだったが、人のために頑張ることの良さを知ることができた。」などの感想をいただきました。

また、次回の一日体験や「ふくろう通心」の記事を書くボランティアにも参加してみたいなど、ボランティアをするきっかけにもなったようでした。